上下分離後の交通事業の財務状況試算について（令和４年度決算ベース）

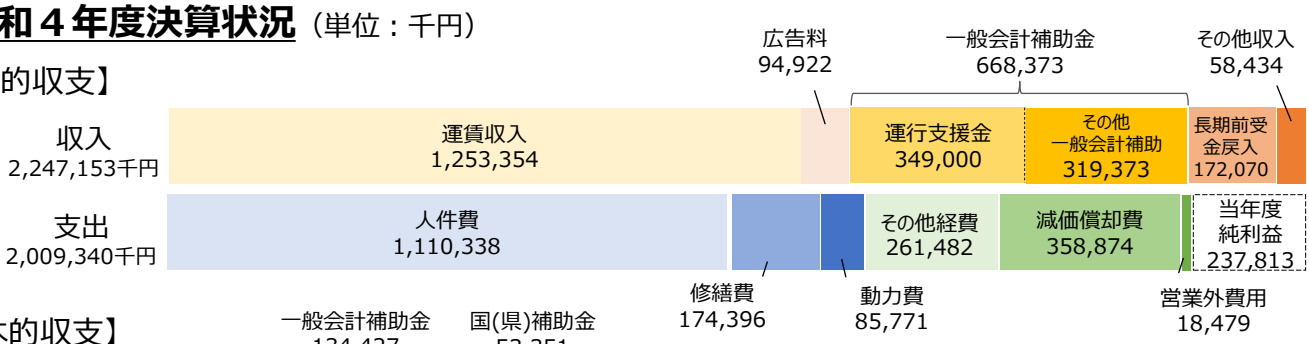
資料 交-1

○ 令和５年第３回定例会で報告した令和４年度交通事業決算状況をベースに、損益計算書等の試算（参考資料①）を踏まえ、上下分離した場合の収支を試算

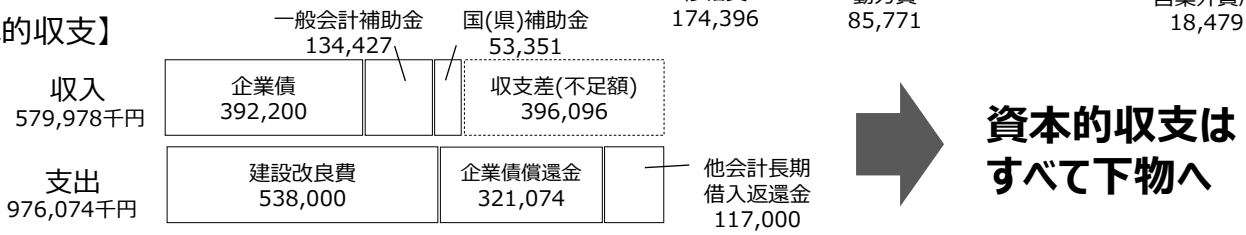
○ 交通事業会計のうち、資本的収支はすべて下物事業者の会計に入る（上下で分割されない）ことから、今回は収益的収支のみ試算の対象とする

■令和４年度決算状況（単位：千円）

【収益的収支】



【資本的収支】



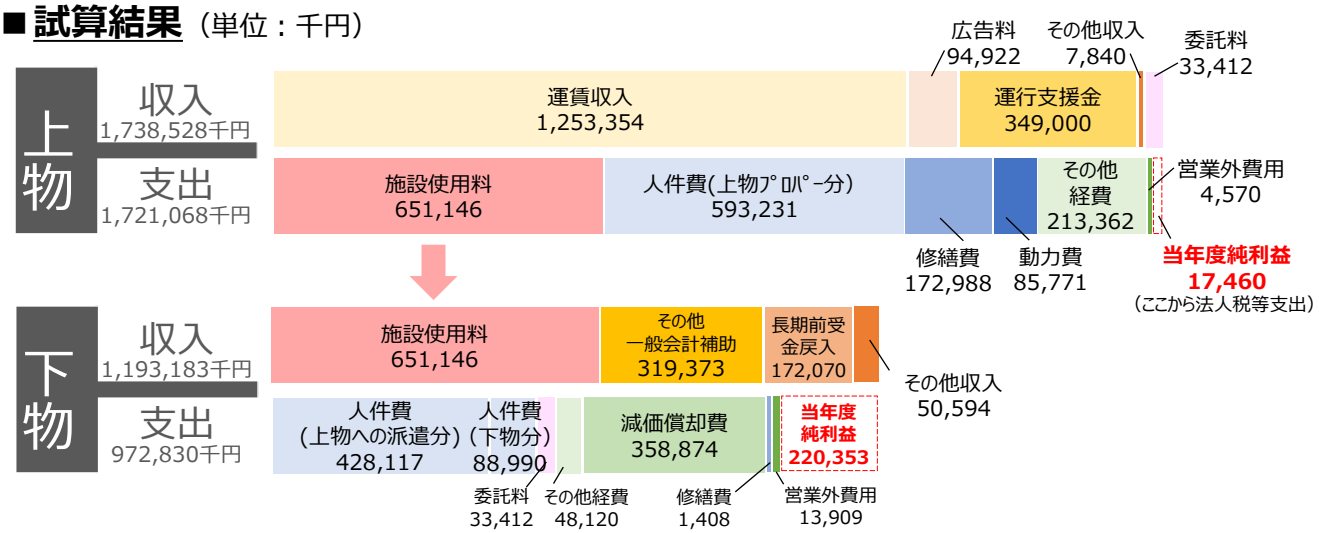
資本的収支はすべて下物へ

■上下分離後試算の基本的考え方

○ 上下分離後の上物の主な収入項目は、運賃や広告料、下物からの委託料(※1)等となり、主な支出項目は、下物への施設使用料(※2)や人件費等となる

○ 一方、下物の主な収入項目は、上物からの施設使用料や一般会計補助となり、支出項目は人件費（下物から上物への派遣分、下物在籍分）や減価償却費、上物事業者への委託料等となる

(※1) 本来所有者である下物が行うべき日常の維持管理業務は、実際の使用者である上物が行うため、それらの費用を「委託料」として下物から上物へ支出

(※2) 下物の経費のうち、上物が使用する施設・車両等の維持管理に係る経費や下物の人件費等を「施設使用料」として、上物が下物に支払う

■試算結果（単位：千円）